

時間割コード	G3E14105	開講年度	2026					
授業題目	生物学A				担当教員	久保 浩義		
英文授業名	Biology A							
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限		対象学生	F (生)
講義室	共通教育 7 1 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	大学DP							
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				生物学に関連した社会的な事柄に対して、自分の言葉で考えを述べ、論議できるようになる。			
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	毎回予定されている授業内容の予習を行い、その成果を発表する。講義終了後に確認テストを行い、講義内容の理解度を確認する。							
(5)授業のキーワード	生物の定義、糖質、脂質、タンパク質、核酸、細胞の構造、オルガネラ、細胞分裂、ATP、解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、光合成							
(6)授業計画	1. ガイダンス、グループ分け、生物の定義 2. 生体の構成成分 糖の構造と機能 3. 脂質について 4. アミノ酸・タンパク質の構造 5. タンパク質の機能 6. DNAの構造 7. DNAの働き、転写、翻訳 8. 前半の確認テスト、細胞構造 9. 多細胞生物と細胞分化 10. DNAの複製、細胞分裂 11. 酵素について 12. ATP 13. 酸化、解糖系、発酵 14. TCA、電子伝達、ATP合成 15. 光合成の反応、後半の確認テスト、授業アンケート							
(7)成績評価の方法	前半、後半の確認テスト、毎回の小テスト、予習内容に関する発表状況							
(8)成績評価の基準	生物学の基本的事項を理解し、他の人に説明できれば達成目標の水準にある。さらに高度な内容を理解していれば、その内容によりやや上にある、かなり上にある、卓越しているとする。							
(9)事前事後学習の内容	毎回、基本的な事項に関して予習し、グループごとにその内容をまとめて発表する。講義終了時に内容理解のための小テストを実施する。							
(10)履修上の注意	講義に先立ち、高校レベルで良いのでその分野の内容を復習しておく。さらにグループで相談し、その内容を初心者にもわかるようにグループごとに発表する。内容の理解に加え、内容のまとめかた、プレゼンの仕方にも工夫をすること。毎回の小テストを必ず提出する。							
(11)質問,相談への対応	メールで随時受け付ける hkubo77@shinshu-u.ac.jp							
(12)授業への出席	毎回の出席を基本とする。やむを得ない欠席の場合は事前にメールなどで連絡すること。							
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	当該授業時間に行った内容に関して、資料をもとにレポートとしてまとめ提出してもらう。内容に関する質問は随時受け付ける。							
【教科書】	教科書は指定しない							
【参考書】	ブルーバックス 大学生物学の大学生物学の教科書 1ー3巻							